

おだがいさま

odagaisama

98号
令和4年
2月1日発行



鶴岡市にひろがるユニバーサルスポーツ「ボッチャ」

去る12月5日、小真木原総合体育館で第2回鶴岡市長杯ボッチャ競技大会が開催されました。鶴岡地区障がい者通所施設協議会、鶴岡市身体障害者福祉協会など障がい者団体が協力し合い、鶴岡南ロータリークラブの全面的な支援の下開催されたこの大会には18チーム約130人が参加しました。

参加者同士で「こう投げるといいんだよ～」と声をかけ合う姿や、ナイスプレーが出た時には、観客や対戦相手から拍手がわき上がる場面もあり、参加者が親睦を深めながらボッチャ競技を楽しむことができました。

鶴岡市が東京パラリンピックでドイツのホストタウンとなったことで注目が高まったボッチャ競技ですが、市内の小学校では授業に取り入れたり、また、大山地区に新設された「だだちゃアリーナ」にはボッチャのコートが備えられるなど、さらに身近に感じられるようになってきています。

「ボッチャ」ってどんなスポーツ？

ボッチャは、重度脳性麻痺、もしくは同程度の四肢重度機能障がい者のためにヨーロッパで考案されたスポーツです。

ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てるなどしながら、いかに近づけるかを競う競技です。

1988年のソウルパラリンピックから公式種目として採用されたボッチャですが、現在は、障がいの有無に関わらず子どもから高齢者まで誰もが一緒に楽しめるユニバーサルスポーツへ発展しました。



年頭のご挨拶



会長 山木 知也

新年、あけましておめでとーございます。

皆様には、健やかに新年をお迎えになられたこととお喜びを申し上げます。

また、昨年中は、社協の活動に多大のご理解とご協力をいただきましたことに厚くお礼を申し上げます。

昨年また、長引くコロナ禍の中で数々の地域行事が中止や縮小を余儀なくさせられた一年でしたが、これによりまちづくりの基本である人々がつどい、語り合う多くの機会が失われました。今年こそは、一刻も早く日常を取り戻し、心かよい、笑顔あふれるまちが戻って来ることを願ってやみません。

今年もまた、鶴岡市社会福祉協議会は役員が一人となつて、一人でも多くの市民の幸せを願い、皆様のご協力をいただきながら「おだがいさまのまちづくり」を進めるとともに、より良い福祉サービスを提供できるように全力を尽くしてまいります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

令和三年度 鶴岡市社会福祉協議会表彰者のご紹介

長年地域福祉の発展のため献身的に尽力された

個人団体に表彰状・感謝状をお贈りしました。

【表彰状】

◆長谷川 重 氏（鶴岡地域）

平成4年から小堅地区社会福祉協議会の役員として、評議員、理事を歴任し、平成23年からは会長として地域福祉推進のために長年尽力されている。

◆第二学区コミュニティ振興会社会福祉部（鶴岡地域）

第二学区社会福祉協議会として平成8年設立。平成30年に第二学区コミュニティ振興会と組織統合してからも、同会の社会福祉部として、地元小学校児童と共に高齢者宅に訪問し交流を図る「ふれあい訪問」、全町内会での座談会開催など、地域福祉活動の充実に貢献されている。

◆斎地区社会福祉協議会（鶴岡地域）

平成7年設立以来、住民主体の見守り・支え合い活動を推進する組織として、配食サービスやいきいきふれあいサロン、認知症カフェの実施、救急安心カートの設置等各種事業を展開している。長年、高齢者の閉じこもり防止や健康の維持・促進に取り組み、地域福祉活動の充実に貢献されている。

◆黄金地区社会福祉協議会（鶴岡地域）

平成5年設立。平成29年からは見守りネットワークの冊子を毎年更新して全戸配布を行う「黄金見守りネットワーク事業」、また平成30年からは「生きこもこのよい地域づくり」を目指しこころの健康づくり事業に取り組みなど、地域福祉活動の充実に貢献されている。

◆大泉地区社会福祉協議会（鶴岡地域）

昭和31年設立。高齢者の閉じこもり予防や健康維持・促進を目的にいきいき百歳体操やサロン活動を積極的に支援しており、高齢者への訪問を行う「高齢者支援事業」を行うなど、地域福祉活動の充実に貢献されている。

◆太田 広美 氏（鶴岡地域）

平成16年から日常生活自立支援事業「福祉サービス利用援助事業」の生活支援員として、高齢者や障がい者などで日常生活に不安のある方の福祉サービス利用料の支払いや日常的な金銭管理の支援、安否確認を行うなど、地域で安心して生活を送ることができる環境づくりに長年尽力されている。

◆グリーンギターフィールズ（藤島地域）

平成元年設立。クラシックギターの演奏を通じた青少年育成活動に取り組み、児童や親子を対象にしたギター教室、福祉施設や地域、学校行事での演奏などのボランティアを長年続けられ、地域福祉向上のために尽力されている。

【感謝状】

◆川越 孫一 氏（鶴岡地域）

平成20年から京田地区社会福祉協議会の役員として監事、副会長を歴任し、平成26年からは同協議会の会長として地域福祉推進のために長年尽力されている。

◆佐藤 進 氏（羽黒地域）

鶴岡市社会福祉協議会評議員や羽黒地域福祉委員を歴任し、地域活動でも平成20年から代表を務める傾聴ボランティア「しゃべってほっとの会」を始め、お茶のみサロン「はっぴー広場」、配食サービスボランティア「福寿草の会」など多くの活動を積極的に進め、地域福祉向上のために長年尽力されている。

◆子ども支援ボランティア「チーム飛躍」

平成25年設立。東日本大震災で被災し、鶴岡に避難してきた子どもたちのための学習支援や保護者の方も含めた傾聴、保護者同士の情報交換の場づくりなど、避難者の方に寄り添った支援を令和3年3月まで続けられ、地域福祉向上のために長年尽力された。

◆フクシマの子どもの未来を守る家

平成23年設立。東日本大震災の原発事故により避難した福島県や宮城県出身の親子に、鶴岡市で一時的でも保護できる場や交流の機会を設けるため、空き家を活用した拠点を整備し、避難者の方の受け入れを続けるなど、地域福祉向上のために長年尽力されている。

◆曹洞宗山形県第三宗務所

東日本大震災発生後、庄内地方の曹洞宗寺院で構成される第三宗務所の青年部を中心に檀信徒や住職家族も参加し、被災地でのボランティア活動の実施、義援金の呼びかけ、避難所や仮設住宅での傾聴活動「行茶ボランティア」などを令和3年3月まで続けられ、地域福祉向上のために長年尽力された。

◆特定非営利活動法人鶴岡災害ボランティアネットワーク

平成18年設立。東日本大震災の被災者支援では、鶴岡市ボランティアセンターの被災地支援活動、鶴岡市への避難者支援活動に積極的に協力いただくと共に、同センター主催の「被災地の人々と鶴岡市民の交流事業」を自法人の主催事業として引継いで長年被災地の方々への支援、交流を続けておられるなど、地域福祉向上のために長年尽力されている。

◆国際ソロプチミスト鶴岡

昭和63年から、長年にわたり一般社会福祉事業、各事業所へのご寄付を頂戴しており、地域福祉事業を推進する貴重な財源として活用させていただいている。

まちづくりはここから！地域支え合いプラン

「地域支え合いプラン」をもとに、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていける地域づくりのため、各地域で様々な取組が行われています。今回は湯野浜地区と第二学区の取組の内容をご紹介します。

湯野浜地区

学区の特色 海沿いに位置し、足湯や共同浴場など温泉に恵まれている地区。旅館も多く、県内でも有数の温泉観光地である。
人口 1,188人 世帯数 589世帯
(令和3年4月現在)

① 温泉を利用した子育て支援活動

- ・子育て世代の育児疲れ解消のため共同浴場の休館日を利用し、浴場内の照明を暗くしてランプやアロマ、音楽によるリラクゼーションを提供する
- ・子どもに対して有識者から温泉の歴史と入浴マナーを教示してもらう

② 単身世帯者生活支援事業

- ・単身高齢者世帯などに対し、地域住民による声掛けを促すとともに、各団体と連携して訪問を基本とした見守り支援活動の取組の実施

子育て世代の息抜きのために

湯野浜地区では、「地区に住む子育て世代の支援をしたい」との思いがあり、地域の共同浴場を利用し、リラクゼーションできる場と時間の提供を行いました。また、帰宅した後の夕飯にと、婦人会でカレーを作り、利用した方たちにお土産として振舞いました。利用した方からは、「日々の育児に追われる中でゆとりが過ぎることができた」「夕食のことまで考えてくれてありがたかった」と感想が聞かれました。婦人会でも、新型コロナウイルス対策として、カレー作りの人数を最小限に減らすなど、利用する方たちが少しでも安心して利用できるように配慮されていました。



ランプやアロマを設置した共同浴場



利用者へ提供された手作りカレー

支援対象者を越えて地区全世帯へ

令和元年八月十八日に発生した山形県沖地震（M6.7）では、津波注意報が発令されました。その際、避難所に避難した人たちに毛布が供給されましたが避難者に十分いき渡らなかったという課題を踏まえ、単身世帯には一枚、その他の世帯には二枚のアルミシートを湯野浜地区社協が一軒一軒訪問しながら全世帯に配布しました。配布を受けた方からは「こういうものがあるという時に助かる」という声が聞かれました。



配布されたアルミシート

第二学区

地区の特色 鶴岡天満宮があり、藩士の天神信仰により天神祭りが栄え、歴史と文化が残る地域。20町内会あり小規模の町内会が多い。
人口 7,187人 世帯数 3,258世帯
(令和3年4月現在)

① 見守り・見守られ支え合う地域づくり

- ・全町内会で福祉座談会の実施、チラシによる見守り視点の啓発活動など

② みんな（多世代）で関わり合える地域づくり

- ・先進的取組をしている町内会や取組をしたい町内会での研修開催、PTAや学校と連携した福祉学習等の開催

全町内会で座談会を開催

第二学区では、地域（町内）の福祉課題に住民一丸となつて取り組むことを目標に、全町内会で福祉座談会を開催することとしています。令和二年度までに十一町内会で開催しており、今年度は三町内会で行いました。

ほなみ町の座談会では、「アパートの入居者の情報が入らない」「子ども会を離れると町内会との関わりが減る」といった課題が上がり、神明西町内会・神明天神町内会では、「自分がやれること・やって欲しいことを声に出していかなければならない」「出来ることをできる人が出来る時にやっていくことが大事だ」といった声が上がりました。また、大東東町内会では「新興住宅地に入居する若い世帯に町内会としてどう関わっていけばよいか」等の意見が出されました。

どの町内会の座談会からも皆さんの「この町を良くしたい！」という思いが伝わってきました。



神明西・神明天神町内会福祉座談会

「ふれあい訪問」はお手紙で

第二学区コミュニティ振興会社会福祉部で進めている「ふれあい訪問」は、毎年朝陽第二小学校の三年生・四年生の協力を得て、一人暮らし高齢者のお宅を訪問し交流する事業です。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、残念ながら今年度の訪問は中止となりましたが、「ふくし」や「高齢者」についての理解を深める事前学習を行い、訪問する予定だった方に向けて、心のこもった手紙を書いてくれました。

子どもたちが今頑張っていることや事前学習で学んだことが書かれている手紙を受け取った高齢者から、お礼の返事が届けられるなど交流が広がりました。

来年度もこうした活動を通して地域と学校をつなげていくことをしています。



朝陽第二小学校 事前学習の様子

鶴岡福祉バス予約会のお知らせ（令和4年4月～6月分）

鶴岡福祉バス予約会のための事前申込を次の日程で受付けます。

●受付期間 2月1日(火)～2月10日(木)
9時～17時(土日除く)

※受付順番によって優位になることはありません。
※FAXや郵送での受付も可能ですが、土日の受付は翌平日のご連絡になります。
※申請書には必ず押印をお願いします。

●対象期間 4月～6月
(期間内で1団体1回の予約ができます。)

●利用対象 旧鶴岡市区域に住所を有する団体

●予約会日時 2月24日(木) 10時～12時

●会場 鶴岡市総合保健福祉センター

(にこ♥ふる) 3F 大会議室

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によって、中止や変更となる場合があります。

●申込み・問合せ

鶴岡市社会福祉協議会総務課 福祉バス担当

☎24-0053 (申請書は同所にあります。)

※現在、乗車人数に制限を設けての運行となっています。

※観光や慰安目的でのご利用はできません。

年末に行った9つの社会福祉法人 合同のフードドライブについて

12月1日発行のおだがいさま広報でお知らせしました、9つの社会福祉法人合同によるフードドライブの取組に多くの食料品が寄せられ、市内の107世帯に食品をお渡しすることができました。

この取組が少しでも皆さんの生活のお役に立てば幸いです。

生活福祉資金、緊急小口資金 拡充支援資金貸付

山形県社会福祉協議会生活福祉資金緊急小口資金・総合支援資金(初回貸付)特例貸付及び、鶴岡市が実施する緊急小口資金拡充支援資金貸付の申込受付期間が3月31日まで延長されました。

ご相談・お問い合わせはお住いの福祉センター(下記参照)まで。

ご寄付ありがとうございました

みなさまのご厚志に心より御礼申し上げます
(令和3年11月1日から令和3年12月31日までのご寄付を掲載しています)

★一般社会福祉事業へ

◎鶴岡福祉センターへ

・真如苑 庄内支部 様 200,000円
・真言宗豊山派山形二支所仏教青年会 様 115,747円
・善寶寺専門僧堂 様 30,293円

◎藤島福祉センターへ

・(株)大沼工務店 様 10,000円

★鶴岡市ボランティアセンターへ

(災害時のボランティア活動へ)

・渡部 よしはる 様 土嚢袋 24枚

★鶴岡地域生活自立支援センターへ

(就労準備支援事業へ)

・鈴木 貞子 様 30,000円

★鶴島老人福祉センターへ

(ちょボラ場への活用へ)

・佐藤 せ子 様 タオル 40枚

★地域福祉センターなえづへ

・(株)産直あぐり 様 ラ・フランス(5kg入り) 2箱

★居宅介護支援センターふれあいへ

・川西 恭子 様 10,000円

★老人デイサービスセンターおおやまへ

・工藤 七三郎 様 手作り門松 1対

★鶴岡市高齢者福祉センターおおやまへ

・鈴木 金輔 様 50,000円
・蓮池 誠 様 10,000円
・鶴岡市立大山小学校 様 12,000円
・上林 稔 様 Tシャツ 32枚

★鶴引すこやかセンターへ

・(株)産直あぐり 様 ラ・フランス(5kg入り) 4箱

・工藤 七三郎 様 手作り門松 1対

★くしきき東部保育園へ

・澁谷 直樹 様 新米(雪若丸) 2kg×63袋

★くしきき西部保育園へ

・出羽商工会鶴引支所 様、田川建設労働組合

鶴引支部 様 絵本 18冊

★温海デイサービスセンター愛寿園へ

・(株)ケアポリス温海 様 30,000円

・ファミリーマートあつみ温泉インター店 様、

ファミリーマート鶴岡水沢店 様、ファミリー

マート鶴岡三瀬店 様、ファミリーマート鶴

岡大山店 様

クリスマスケーキ 6個、ポケチキ 90個

★鶴岡市ゆうあいプラザかたぐるまへ

・(株)産直あぐり 様 ラ・フランス(5kg入り) 2箱

・スマイルサンタクロース 様

クリスマスケーキ 7個

★もみじが丘へ

・(株)産直あぐり 様 ラ・フランス(5kg入り) 2箱
・山形県ヤクルトレディ親交会・山形県ヤクルト協会 様 50,000円

★児童福祉事業所へ

・東京都江戸川区布絵の会 様 布絵本 6冊

★鶴岡市中央児童館へ

・野口 ツネ子 様 電子ピアノ 1台

★くしききデイサービス・鶴引地域の4保育園へ

・鶴引地域婦人会 様 タオル 82枚

★フードバンクへ

・山形県社会福祉事業団 庄内地方施設職員一同 様

食料・飲料品 136点

・共立社鶴岡生協 様 食品・日用品 163点

・ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング (株)山形テク

ノロジーセンター 様 食料・飲料品 120点

・明治安田生命 庄内北営業所 様 食料品 57点

・JA庄内たがわ女性部 様

食料・飲料・生活用品 267点

★特別指定寄附(市内の子ども食堂へ)

・匿名 様 100,000円

★特別指定寄附(障害者支援施設恵風園へ)

・山形県ヤクルトレディ親交会・山形県ヤクルト協会 様 50,000円

おだがいさま

第98号

令和4年2月1日発行

発行部数 47,800部



編集・発行

社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会

鶴岡市泉町5番30号 (にこ♥ふる 2階)

TEL 0235-24-0053 FAX 0235-23-9110

ホームページ <https://www.shk01.jp/>



鶴岡福祉センター TEL 24-0053

藤島福祉センター TEL 64-3100

羽黒福祉センター TEL 62-4534

鶴引福祉センター TEL 57-5300

朝日福祉センター TEL 53-2795

温海福祉センター TEL 43-2114

この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。